

科目名	家政学概論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	米 田 郁 夫・竹 下 友 子						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	高齢者や障がいのある人たちの生活をよりよくするために支援する能力を養う講義である。住居については、住まいの基本的機能やバリアフリーに関する技術を講義し、高齢者や障がい者が暮らしやすい環境について主体的に考えることができるようになる。家庭生活については、意義を解説し、家庭生活を経営・管理するための生活知識を講義する。被服については、被服素材から被服の衛生、管理、被服の選択について講義し、衣生活を円滑に運営する能力を養う。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人々の生活と住居に関心を持つことができる。</li> <li>2. 住宅のバリアフリー化や関連する機器・設備に関する知識を習得する。</li> <li>3. 高齢者や障がい者が暮らしやすい環境について、主体的に考えることができるようになる。</li> <li>4. 家庭生活の意義を理解し、管理・運営・創造する能力を身につける。</li> <li>5. 衣生活に関する基礎知識を理解することができる。</li> <li>6. 快適な衣生活について考えることができる。</li> <li>7. 衣生活における基礎的な技術を身につける。</li> <li>8. 意欲的に授業に参加することができる。</li> <li>9. 真面目に取り組むことができる。</li> </ol>						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	プリント等						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	◎	○			45	
宿題・授業外レポート	◎		○			5	
授業態度	○		◎			15	
受講者の発表							
授業への参加度	○		◎			15	
その他				◎		20	
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション 家政学の意義						
第 2 週	健康生活維持のための住宅改造 (1) 高齢者のための住居改善						
第 3 週	健康生活維持のための住宅改善 (2) 福祉機器利用も考慮した住環境整備						
第 4 週	健康生活維持のためのベッドの重要性						
第 5 週	中間まとめ(レポートの作成)						
第 6 週	家庭生活の意義 家庭経営の体系 家庭経営の重要性						
第 7 週	高齢社会の家庭生活						
第 8 週	衣生活の知識 (被服の役割と機能)						
第 9 週	衣生活の知識 (被服と保健衛生)						
第 10 週	衣生活の知識 (被服の選択と管理)						
第 11 週	衣生活を営むための基礎技術①						
第 12 週	衣生活を営むための基礎技術②						
第 13 週	衣生活を営むための基礎技術③						
第 14 週	衣生活を営むための基礎技術④						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開講日は不定期のため、各自時間割・掲示板等を確認のうえ、講義に出席のこと。</li> <li>・第1～5週…住居は米田が担当</li> <li>・第6～15週…家庭生活・被服実習は甲斐が担当 (集中講義)</li> <li>授業前には事前学習、授業後は事後学習をしっかり行い、疑問点等があるときはそのままにせず積極的に教員に聞くようにすること。</li> </ul>						